

Murakami Shinkin Bank

第76期

業務報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



 村上信用金庫

<https://www.murakami-shinkin.com/>

ごあいさつ



会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より村上信用金庫をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

令和5年度の日本経済は、日経平均株価が令和6年2月にバブル期以来となる史上最高値を更新するなど激しい展開となりました。また日銀は、マイナス金利政策の解除及びイールドカーブ・コントロールの撤廃を行い、2013年に始まった大規模緩和は事実上終了し、金融政策は正常化に向けて新たな段階に入っております。

このような中、当金庫は令和6年度に新中期経営計画「未来を拓く変革への挑戦」の初年度として「地域とお客様への課題解決力の強化」「持続的な人的基盤の確立」「業務・組織改革の深化とDXの推進」の3項目を重点施策に掲げ取組みを行います。

コロナ禍の3年間を乗り越え、社会的経済活動は平常化が進んでおり、景気は緩やかな回復傾向にあります。円安の長期化や資源等の価格上昇、慢性的な人手不足など、当地域を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

地元本店を置く唯一の金融機関として、当金庫に求められる役割は大きくなっております。これまで以上にお客様支援や地域の課題解決に向けた取組みを強化し「地元のメインバンク」として役員一同取組んで参ります。

今後とも変わらぬご支援と一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

理事長 齋藤 和彦

当金庫の概要

◆ 名 称	村上信用金庫
◆ 本店所在地	〒958-8601 新潟県村上市小町2番15号 TEL：0254-53-2181（代表）
◆ 創 立	明治40年11月
◆ 会 員 数	8,357名
◆ 店 舗 数	7店舗
◆ 出 資 金 残 高	3億71百万円
◆ 常勤役員数	95名
◆ 自己資本比率	22.33%

(2024年3月31日現在)

経営理念

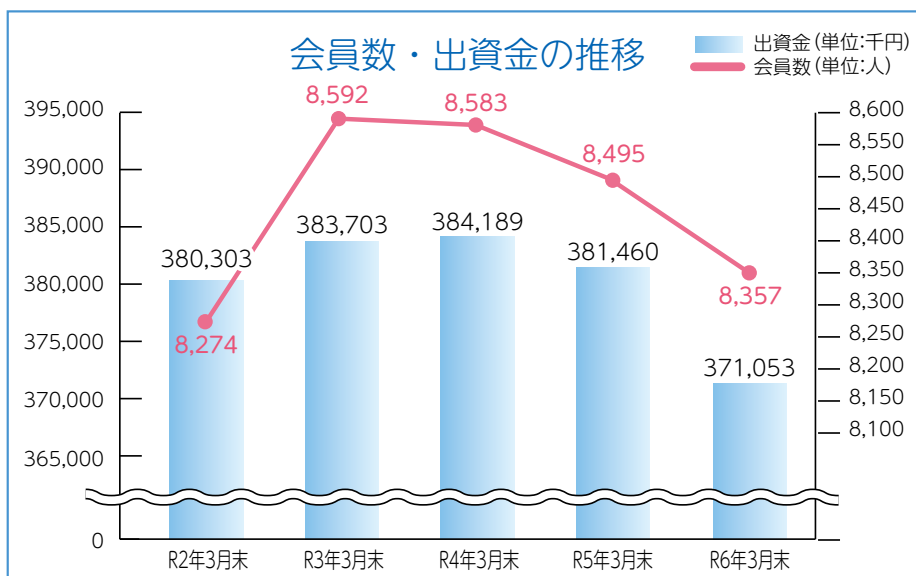
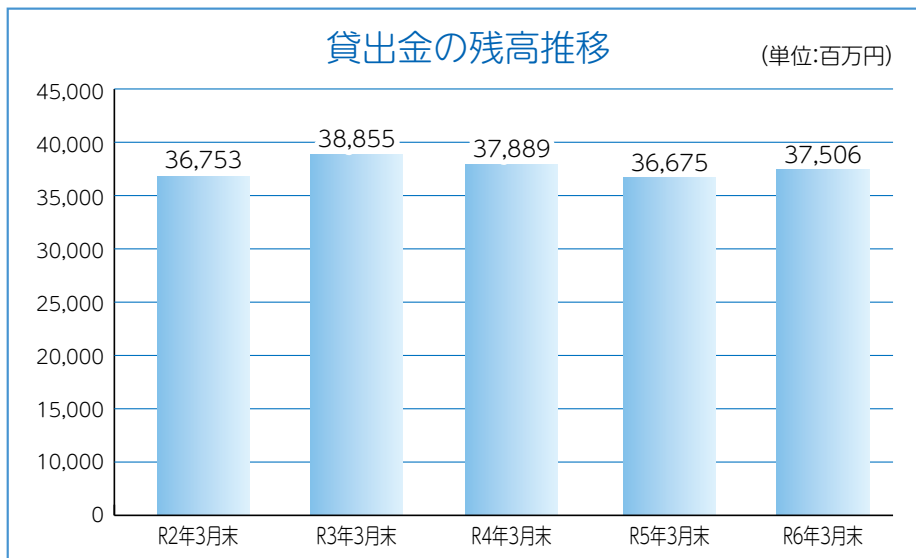
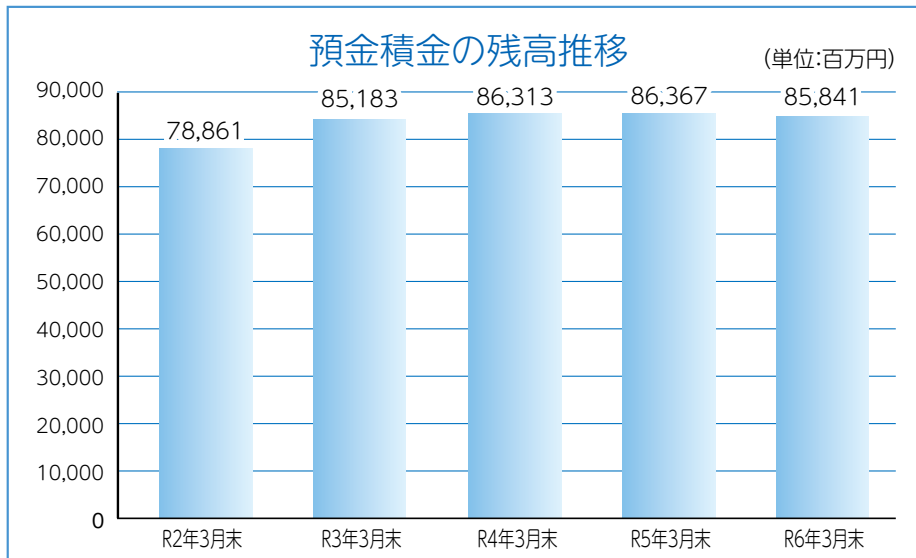
1. 私たちは、お客様の発展と幸せのために最善を尽くします。
2. 私たちは、地域社会の発展のために最善を尽くします。
3. 私たちは、村上信用金庫の発展と役員全員幸せのために最善を尽くします。

役 員

理 事 長	齋 藤 和 彦	理 事	横 井 仁
専務理事	五十嵐 和 明	理 事	伴 田 宏
常務理事	長谷川 勝 人	常勤監事	佐 藤 浩 之
常勤理事	吉 田 茂	監 事	丹 善 広
常勤理事	八藤後 靖 子	監事(員外)	小 田 健 司

(2024年3月31日現在)

業績の推移



第76期 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現 金	1,433
預 け 金	13,993
買 入 金 銭 債 権	228
有 価 証 券	44,565
国 債	1,200
地 方 債	3,022
社 債	17,607
株 式	2,171
そ の 他 の 証 券	20,564
貸 出 金	37,506
割 引 手 形	133
手 形 貸 付	1,765
証 書 貸 付	32,878
当 座 貸 越	2,729
そ の 他 資 産	685
未 決 済 為 替 貸	13
信 金 中 金 出 資 金	505
前 払 費 用	5
未 収 収 益	141
そ の 他 の 資 産	18
有 形 固 定 資 産	355
建 物	25
土 地	207
リ ー ス 資 産	16
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	105
無 形 固 定 資 産	11
ソ フ ト ウ ェ ア	2
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	8
前 払 年 金 費 用	46
債 務 保 証 見 返	963
貸 倒 引 当 金	△ 599
(うち個別貸倒引当金)	(△ 574)
資産の部合計	99,189

科 目	金 額
(負債の部)	
預 金 積 金	85,841
当 座 預 金	1,537
普 通 預 金	43,769
貯 蓄 預 金	452
定 期 預 金	34,977
定 期 積 金	4,828
そ の 他 の 預 金	275
借 用 金	3,000
当 座 借 越	3,000
そ の 他 負 債	203
未 決 済 為 替 借	27
未 払 費 用	15
給 付 補 填 備 金	3
未 払 法 人 税 等	16
前 受 収 益	21
払 戻 未 済 金	4
払 戻 未 済 持 分	0
職 員 預 り 金	46
リ ー ス 債 務	17
資 産 除 去 債 務	23
そ の 他 の 負 債	25
賞 与 引 当 金	31
退 職 給 付 引 当 金	22
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	57
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
偶 発 損 失 引 当 金	26
繰 延 税 金 負 債	62
債 務 保 証	963
負 債 の 部 合 計	90,210
(純資産の部)	
出 資 金	371
普 通 出 資 金	371
利 益 剰 余 金	8,011
利 益 準 備 金	381
そ の 他 利 益 剰 余 金	7,629
特 別 積 立 金	7,175
(地域奉仕積立金)	(200)
(本店建設積立金)	(500)
当 期 未 処 分 剰 余 金	454
会 員 勘 定 合 計	8,382
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	597
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	597
純 資 産 の 部 合 計	8,979
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	99,189

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第76期 損益計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	1,324,571
資 金 運 用 収 益	1,163,554
貸 出 金 利 息	611,545
預 け 金 利 息	52,579
有価証券利息配当金	487,857
その他の受入利息	11,572
役 務 取 引 等 収 益	106,395
受入為替手数料	33,831
その他の役務収益	72,563
そ の 他 業 務 収 益	30,682
国債等債券売却益	12,265
その他の業務収益	18,417
そ の 他 経 常 収 益	23,938
償 却 債 権 取 立 益	265
株 式 等 売 却 益	21,069
その他の経常収益	2,604
経 常 費 用	1,211,521
資 金 調 達 費 用	7,709
預 金 利 息	5,427
給付補填備金繰入額	1,456
借 用 金 利 息	594
その他の支払利息	230
役 務 取 引 等 費 用	96,246
支 払 為 替 手 数 料	10,285
その他の役務費用	85,960
そ の 他 業 務 費 用	308
国債等債券償還損	210
その他の業務費用	98
経 費	839,418
人 件 費	593,051
物 件 費	223,135
税 金	23,231
そ の 他 経 常 費 用	267,839
貸倒引当金繰入額	239,191
そ の 他 資 産 償 却	775
その他の経常費用	27,871
経 常 利 益	113,049
特 別 損 失	2,196
固 定 資 産 処 分 損	2,196
税引前当期純利益	110,853
法人税、住民税及び事業税	46,102
法 人 税 等 調 整 額	7,754
法 人 税 等 合 計	53,857
当 期 純 利 益	56,995
繰越金(当期首残高)	397,849
当 期 未 処 分 剰 余 金	454,845

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第76期 剰余金処分計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	454,845,438
利 益 準 備 金 取 崩 額	10,407,600
計	465,253,038
剰 余 金 処 分 額	11,111,197
普通出資に対する配当金(年3%)	11,111,197
繰越金(当期末残高)	454,141,841

庶務の概要

●第75期通常総代会

令和5年6月23日、第75期通常総代会を村上市瀬波温泉「大観荘せなみの湯」において開催しました。

報告事項

第75期(令和4年度)業務報告、貸借対照表及び損益計算書報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
 - 第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件
 - 第3号議案 理事及び監事任期満了につき選任の件
 - 第4号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件
- 以上いずれの議案も原案通り承認可決されました。

●総代会制度について

信用金庫は、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫の会員数は8,357名(令和6年3月末現在)と多く、総会の開催は事実上不可能であることから、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
 - 総代の定数は、60人以上80人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
- なお、令和6年3月末現在の総代数は69人です。